

序

高齢者保健福祉推進計画の策定にあたって

序 高齢者保健福祉推進計画の策定にあたって

1. 計画策定の趣旨

わが国では、高齢化が急速に進行しており、団塊の世代が 65 歳以上となる平成 27 年頃には、国民のほぼ 4 人に 1 人が高齢者となると予測されています。

本市においても、高齢者人口は平成 20 年 10 月の約 17 万 6 千人 から平成 26 年には 1.28 倍の約 22 万 5 千人になり、高齢化率は 23.3%となるものと見込んでいます。

本市では、平成 12 年度から「生涯健やかにいきいきと暮らすことができるまち」の実現をめざし、介護保険事業計画を包含した「高齢者保健福祉推進計画」に基づき、医療提供体制の充実や、いきいきプラザ・いきいきセンターなどの地域での活動拠点を整備するなど、健康づくりや社会参加の促進を図るとともに、保健・医療・福祉の連携を強化し、介護保険サービスの充実や保健福祉サービスの向上に取り組んできました。

このような中、平成 18 年 4 月に介護保険制度は、予防重視型システムへの転換を中心とした制度全般の改革が行われ、新予防給付や地域支援事業、地域密着サービスなど、新たなサービスが導入されました。

本市では、市内 12 か所に地域包括支援センター（本市では「あんしんケアセンター」という愛称を使用しています。以下「あんしんケアセンター」という。）を設置し、介護予防の推進や高齢者の総合相談支援、権利擁護などに取り組んでおります。

今後、一人暮らしの高齢者や認知症高齢者が増加し、見守りの必要性の高い高齢者が増えると見込まれますが、介護や支援が必要になっても、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、介護サービスや地域ケア体制の整備を図るとともに、福祉人材の確保、定着が求められています

さらに、「団塊の世代」の高齢化が本格化するなど、高齢者がこれまで培ってきた知識や技術、経験を活かし、社会参加、地域貢献できるよう、生きがい対策の充実を図ることも必要です。

本計画は、このような考え方を念頭に、平成 24 年 3 月までの療養病床の再編や地域ケア体制を確保するための方策を定めた「千葉県地域ケア整備構想」などとの整合を図りながら、「明るく活力ある超高齢社会の構築」を目標とし、高齢になっても可能な限り社会と関わりながら、元気にいきいきと毎日を過ごせるための健康づくりや介護予防事業に重点を置き、いつでも、安心して介護サービスが利用できるよう、介護保険の適正かつ円滑な運営と高齢者に関する各種保健福祉施策を推進するために、策定するものです。

2. 計画の位置付け

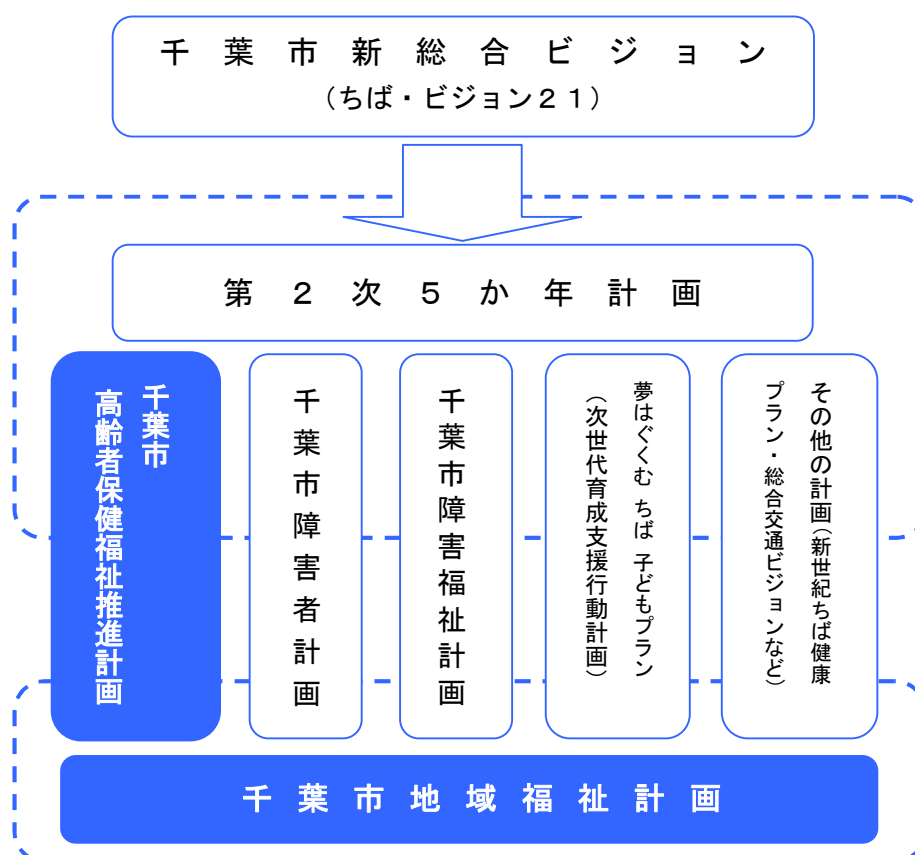
高齢者保健福祉推進計画は、老人福祉計画と介護保険事業計画を一体のものとして策定する計画であり、老人福祉計画は老人福祉法第20条の8に基づき、介護保険とそれ以外のサービスを組み合わせ、生きがいづくりを含め、高齢者に関する地域における福祉水準の向上をめざす計画です。

また、介護保険事業計画は、介護保険法第117条に基づき、介護保険給付サービスや地域支援事業の量の見込みとその確保策、制度の円滑な実施に向けた取り組みの内容を定める計画です。

千葉市高齢者保健福祉推進計画は、地域で支え合う力を高めるため、住民参加・連携・共生といった観点から、地域における福祉を中心とした活動等を積極的に推進する「千葉市地域福祉計画」との整合を図るとともに、計画の実施においては、「千葉市障害者計画」、「夢はぐくむ ちば 子どもプラン（次世代育成行動支援計画）」、新世紀ちば健康プラン、総合交通ビジョンなど関連する計画と連携を図りながら進めていきます。

なお、前計画まで一体的に策定していた老人保健計画については、老人保健法の廃止により、策定義務はなくなりましたが、本市では引き続き保健施策を含めた総合的な計画として策定します。

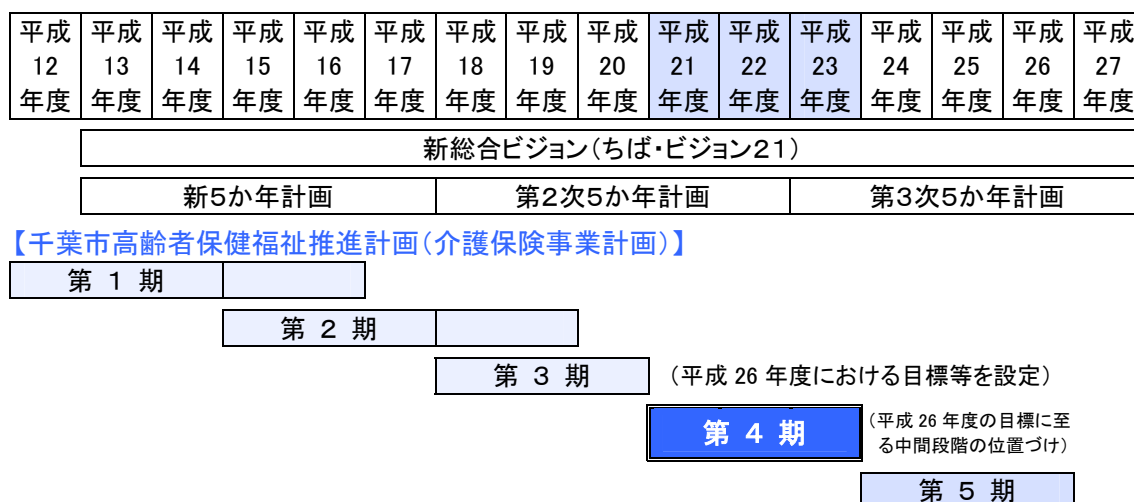
図表 0-1 高齢者保健福祉推進計画と他の計画の関係（イメージ図）



3. 計画の期間

この計画は、平成 21 年度を初年度とし、平成 23 年度を目標年度とする 3 か年の計画とします。期間が終了する平成 23 年度に計画の評価、見直しを行います。

図表 0-2 第 4 期計画の計画期間



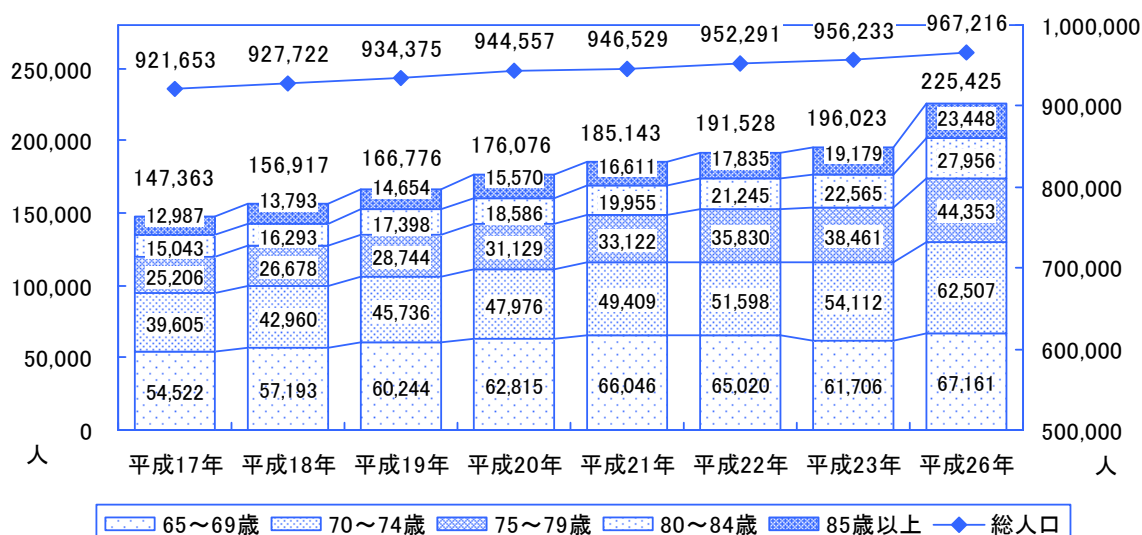
4. 高齢者を取り巻く状況

(1) 人口及び高齢化率

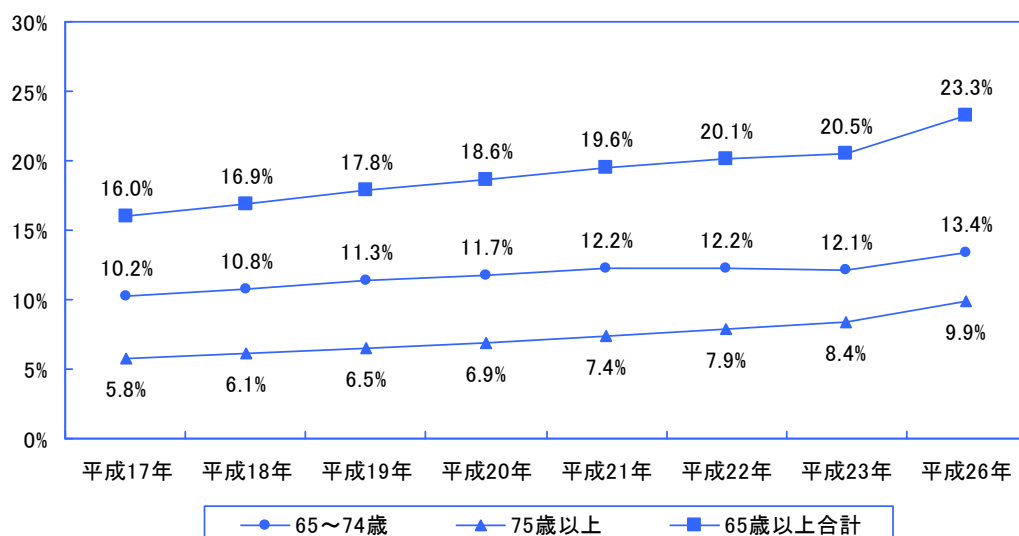
千葉市の平成 20 年 9 月 30 日現在の総人口は、944,557 人です。65 歳以上の高齢者数は、176,076 人となっています。

高齢者人口を年齢構成別に分けて見ると、今後は 75 歳以上の高齢者が増加し、総人口に占める割合も高くなっていきます。

図表 0-3 総人口と年齢構成別高齢者人口の推移



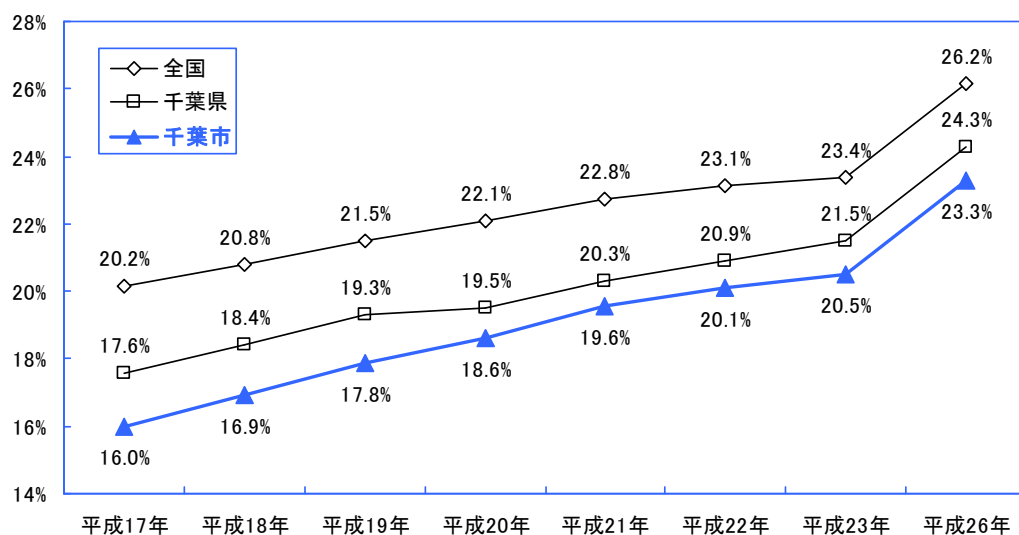
図表 0-4 高齢化率の推移



＜出典＞市資料、平成 20 年までは実績値、平成 21 年以降は推計値（各年 9 月 30 日現在）

高齢化率の推移を全国、千葉県、千葉市で比較すると、平成 19 年では本市は全国より 3.7 ポイント、千葉県より 1.5 ポイント低い値ですが、平成 26 年には、全国との差は 2.9 ポイントと徐々に縮小していくことが見込まれます。

図表 0-5 国・県・市の高齢化率の推移の比較



＜出典＞

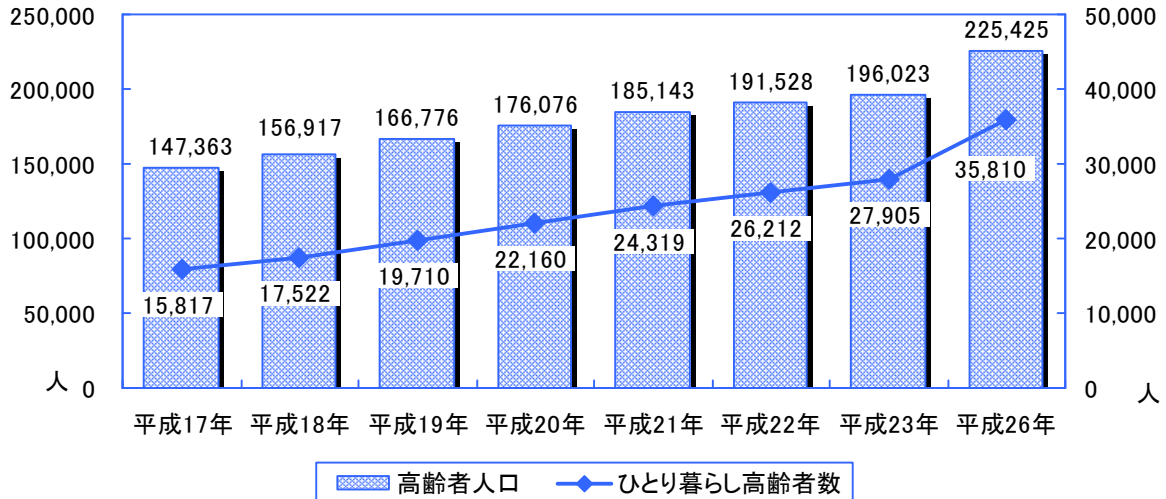
全 国：平成 19 年までは総務省公表推計人口、平成 20 年度以降は日本の将来推計人口（平成 18 年 12 月推計、出生中位（死亡中位）推計）（各年 10 月 1 日現在）

千葉県：平成 19 年までは総務省公表推計人口（各年 10 月 1 日現在）、平成 20 年度以降は、「第 4 期介護保険事業運営期間における保険料等の調査」（平成 21 年 1 月 27 日）

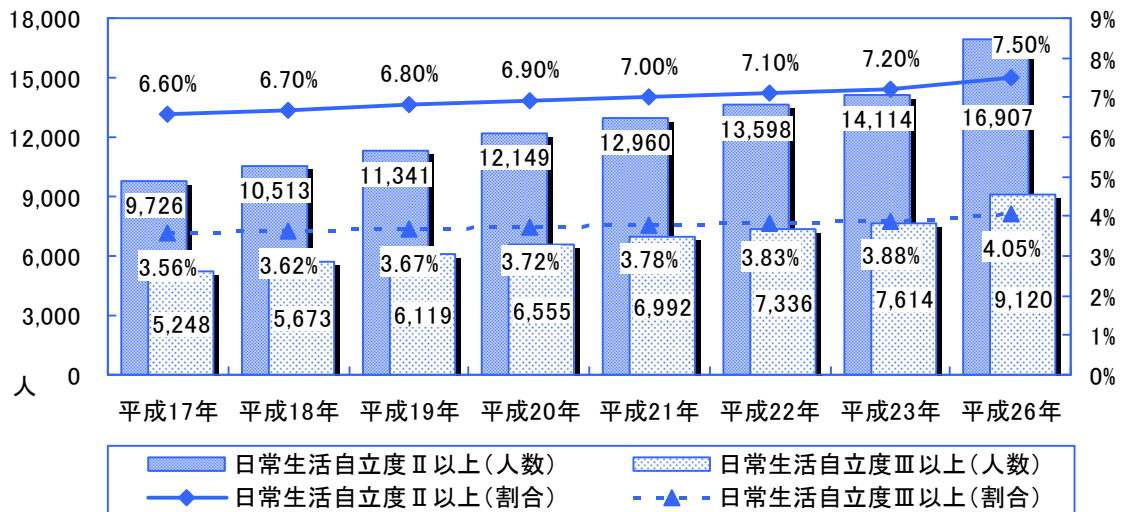
千葉市：市資料、平成 20 年までは実績値、平成 21 年以降は推計値（各年 9 月 30 日現在）

身近な地域での支援が求められているひとり暮らしや認知症の高齢者は、年々増加しており、今後も、さらに増加すると見込まれています。

図表 0-6 ひとり暮らし高齢者の推移・推計



図表 0-7 認知症高齢者の推移・推計



(注) 日常生活自立度Ⅱ：日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

日常生活自立度Ⅲ：日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。

<出典>

※ 人口は市資料、平成20年までは実績値、平成21年以降は推計値（各年9月30日現在）

※ ひとり暮らし高齢者数は、民生委員による実態調査に基づく各年6月の数値と推計

※ 認知症高齢者の出現率は、国の推計に基づく。

(2) 介護保険の現状

① 要介護認定者数の推移

平成 20 年 9 月 30 日現在の要介護認定者数は、第 1 号被保険者と第 2 号被保険者を合わせて 25,610 人、第 1 号被保険者の認定率は 14.0%で、ここ数年、要介護認定率は概ね横ばいの状態となっています。

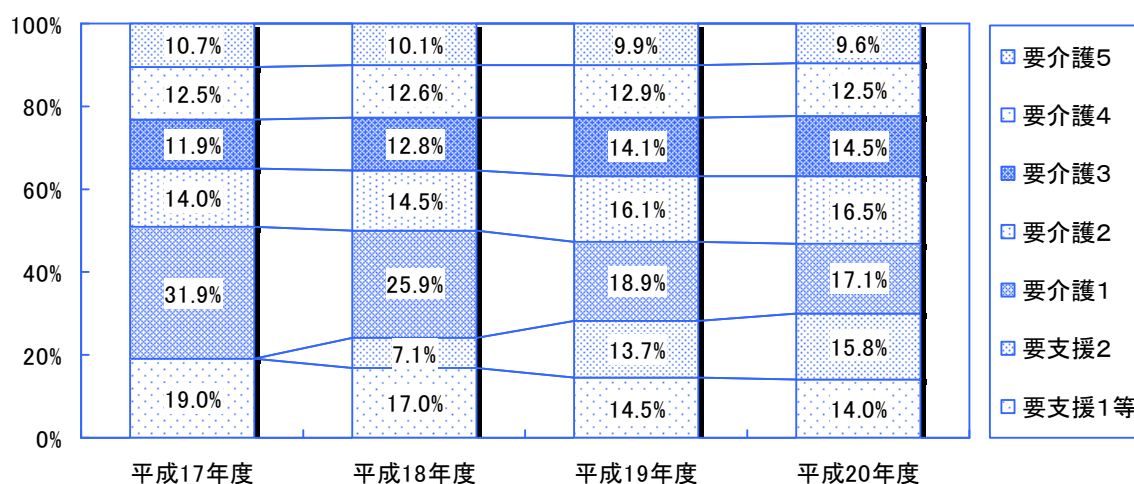
要介護度別では、要介護 2・3が増加しており、合わせて 30%を超えています。また、軽度者である要支援者（要支援 1・2）と要介護 1は減少していますが、構成比は合わせて 46.9%と約半数を占めています。

図表 0-8 要介護認定者数・認定率の推移

単位:人

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
第 1 号被保険者数	147,077	156,613	166,317	175,489
要介護(支援)認定者				
第 1 号被保険者	20,068	21,730	22,949	24,554
第 2 号被保険者	1,009	1,003	1,000	1,056
計	21,077	22,733	23,949	25,610
認定率(第 1 号被保険者)	13.6%	13.9%	13.8%	14.0%
要介護度別の内訳	21,077	22,733	23,949	25,610
要支援 1 等	3,997	3,865	3,461	3,583
要支援 2	—	1,612	3,288	4,048
要介護 1	6,719	5,886	4,525	4,373
要介護 2	2,959	3,306	3,860	4,229
要介護 3	2,515	2,917	3,369	3,717
要介護 4	2,638	2,856	3,081	3,189
要介護 5	2,249	2,291	2,365	2,471

図表 0-9 要介護度別認定者割合の推移



<出典>介護保険事業状況報告（9 月 30 日現在）

② 介護サービスの利用状況

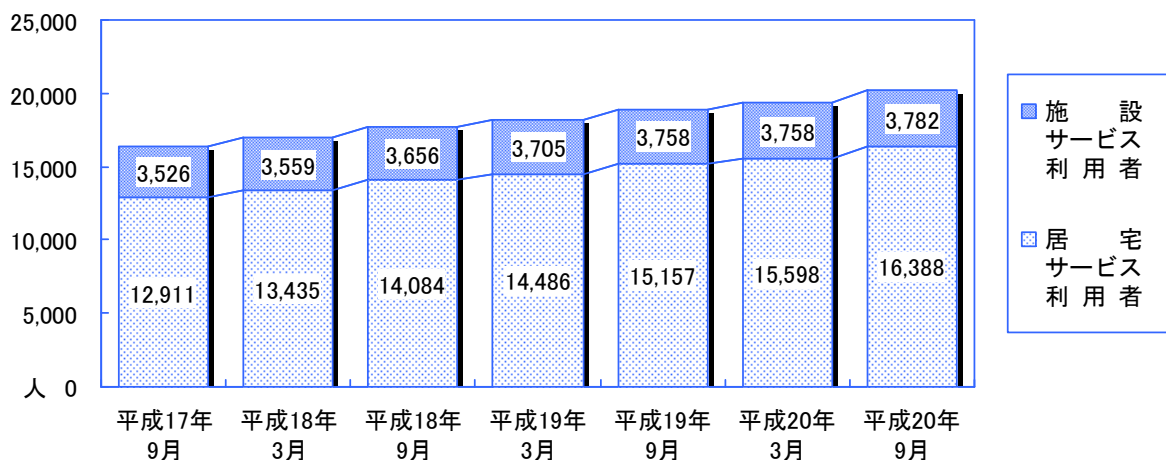
介護サービス利用者数は着実に増加しています。施設サービス利用者が定員の関係から伸び悩む中で、居宅サービス利用者の割合が増加しています。特に、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護の利用者数が増加しており、施設サービスの代替を果たしているといえます。

図表 0-10 介護サービス利用者数の推移

単位:人

利用月	平成 17 年 9 月 利用分	平成 18 年 3 月 利用分	平成 18 年 9 月 利用分	平成 19 年 3 月 利用分	平成 19 年 9 月 利用分	平成 20 年 3 月 利用分	平成 20 年 9 月 利用分
居宅サービス利用者 (利用者割合)	12,911 61.3%	13,435 61.3%	14,084 62.0%	14,486 62.3%	15,157 63.3%	15,598 63.2%	16,388 66.7%
特定施設入居者生活介護	500	579	700	831	882	979	1,027
認知症対応型共同生活介護	533	670	809	918	1,017	1,095	1,132
施設サービス利用者 (利用者割合)	3,526 16.7%	3,559 16.2%	3,656 16.1%	3,705 15.9%	3,758 15.7%	3,758 15.2%	3,782 15.4%
介護老人福祉施設	1,772	1,784	1,881	1,958	2,043	2,029	2,033
介護老人保健施設	1,421	1,492	1,509	1,490	1,457	1,486	1,509
介護療養型医療施設	333	283	266	257	258	243	240
計	16,437	16,994	17,740	18,191	18,915	19,356	20,170

図表 0-11 居宅サービス、施設サービスの推移



<出典>市資料、※利用者数はその月に利用した実人数

第3期計画値に対する介護サービスの利用状況は次のとおりです。

介護給付のうち居宅サービスについては、計画値に対して実績値が上回っているものが多くなっています。一方、予防給付については、計画値に対して実績値が大幅に下回っています。

図表 0-12 第3期計画値に対する介護サービス等の利用状況（続く）

【 予防給付サービス 】

サービス種類	年度	平成 18 年度			平成 19 年度			平成 20 年度		
		計画 A	実績 B	B/A	計画 A	実績 B	B/A	計画 A	実績 B	B/A
(1) 介護予防サービス	(単位)									
① 介護予防訪問介護	回	632,545	79,203	12.5%	722,298	167,228	23.2%	776,773	151,949	19.6%
② 介護予防訪問入浴	回	1,089	4	0.4%	1,204	62	5.1%	1,272	111	8.7%
③ 介護予防訪問看護	回	8,919	917	10.3%	10,013	2,362	23.6%	10,674	1,878	17.6%
④ 介護予防訪問リハビリテーション	回	541	157	29.0%	611	505	82.7%	653	770	117.9%
⑤ 介護予防居宅療養管理指導	人	252	84	33.3%	285	130	45.6%	305	178	58.4%
⑥ 介護予防通所介護	回	121,510	6,452	5.3%	137,523	13,051	9.5%	144,965	19,479	13.4%
⑦ 介護予防通所リハビリテーション	回	54,557	2,364	4.3%	61,518	4,701	7.6%	65,739	7,167	10.9%
⑧ 介護予防短期入所生活介護	日	11,342	728	6.4%	12,230	2,564	21.0%	12,550	2,126	16.9%
⑨ 介護予防短期入所療養介護	日	2,223	202	9.1%	2,464	252	10.2%	2,607	297	11.4%
⑩ 介護予防特定施設入居者生活介護	人	243	100	41.2%	311	167	53.7%	378	209	55.3%
⑪ 介護予防福祉用具貸与	人	1,612	188	11.7%	1,829	346	18.9%	1,961	507	25.9%
⑫ 特定介護予防福祉用具販売	人	66	26	39.4%	76	47	61.8%	83	49	59.0%
(2) 地域密着型サービス										
① 介護予防認知症対応型通所介護	回	926	21	2.3%	1,049	13	1.2%	1,124	77	6.9%
② 介護予防小規模多機能型居宅介護	人	34	0	0.0%	57	4	7.0%	79	8	10.1%
③ 介護予防認知症対応型共同生活介護	人	124	4	3.2%	128	5	3.9%	121	5	4.1%
(3) 介護予防支援	人	5,848	2,165	37.0%	6,729	3,213	47.7%	7,270	3,660	50.3%

※ 回数及び日数は年度ごとの合計

※ 人数は各年 10 月利用者数

※ 平成 20 年度は実績見込み

<出典>市資料

図表 0-12 第3期計画値に対する介護サービス等の利用状況（続く）

【 介護給付サービス 】

サービス種類	年度	平成 18 年度			平成 19 年度			平成 20 年度		
		計画 A	実績 B	B/A	計画 A	実績 B	B/A	計画 A	実績 B	B/A
(1) 居宅サービス	(単位)									
①訪問介護	回	1,216,470	1,498,916	123.2%	1,160,054	1,365,399	117.7%	1,166,204	1,339,860	114.9%
②訪問入浴	回	32,284	35,248	109.2%	30,832	34,309	111.3%	31,944	34,884	109.2%
③訪問看護	回	60,929	62,763	103.0%	58,355	65,425	112.1%	60,219	71,113	118.1%
④訪問リハビリテーション	回	2,596	4,480	172.6%	2,489	5,877	236.1%	2,562	6,757	263.7%
⑤居宅療養管理指導	人	1,068	1,605	150.3%	1,025	1,849	180.4%	1,054	2,349	222.9%
⑥通所介護	回	239,188	380,233	159.0%	229,872	378,165	164.5%	231,952	418,901	180.6%
⑦通所リハビリテーション	回	115,391	155,461	134.7%	112,194	154,498	137.7%	115,077	163,205	141.8%
⑧短期入所生活介護	日	126,828	162,724	128.3%	118,692	181,732	153.1%	119,516	198,425	166.0%
⑨短期入所療養介護	日	23,411	27,574	117.8%	22,234	25,988	116.9%	22,812	25,803	113.1%
⑩特定施設入居者生活介護	人	496	618	124.6%	657	701	106.7%	814	794	97.5%
⑪福祉用具貸与	人	3,826	4,132	108.0%	3,702	4,385	118.4%	3,810	4,880	128.1%
⑫特定福祉用具販売	人	112	132	117.9%	109	145	133.0%	113	141	124.8%
(2) 地域密着型サービス										
①夜間対応型訪問介護	回	78,376	0	0.0%	111,959	0	0.0%	154,715	0	0.0%
②認知症対応型通所介護	回	8,484	9,246	109.0%	8,044	11,257	139.9%	8,251	11,777	142.7%
③小規模多機能型居宅介護	人	205	0	0.0%	294	17	5.8%	402	38	9.5%
④認知症対応型共同生活介護	人	889	830	93.4%	995	1,000	100.5%	1,034	1,129	109.2%
⑤地域密着型特定施設入居者生活介護	人	17	0	0.0%	36	0	0.0%	55	0	0.0%
⑥地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人	0	0	—	0	0	—	14	0	0.0%
(3) 居宅介護支援	人	6,976	9,989	143.2%	6,827	8,968	131.4%	7,024	9,406	133.9%
(4) 施設サービス	(単位)	3,830	3,627	94.7%	4,151	3,739	90.1%	4,265	3,745	87.8%
①介護老人福祉施設	人	1,884	1,878	99.7%	2,078	2,030	97.7%	2,125	2,014	94.8%
②介護老人保健施設	人	1,603	1,477	92.1%	1,730	1,460	84.4%	1,797	1,519	84.5%
③介護療養型医療施設	人	343	272	79.3%	343	249	72.6%	343	212	61.8%

※ 回数及び日数は年度ごとの合計

※ 人数は各年 10 月利用者数

※ 平成 20 年度は実績見込み

<出典>市資料

地域支援事業については、平成 18 年度に創設された制度であること、また、国が示した特定高齢者の選定基準が厳しかったこと等により、特定高齢者数及び事業参加者数は少なかったものの、平成 19 年度はともに伸びています。しかし、第 1 号被保険者数に占める割合は、計画値に対して実績値が大幅に下回っています。

図表 0-12 第 3 期計画値に対する介護サービス等の利用状況（続き）

【 介護予防事業 】

		平成 18 年度	平成 19 年度
計 画 値	高齢者人口	156,459	165,960
	地域支援事業対象者数	4,694	7,202
	（第 1 号被保険者数に占める割合）	3.0%	4.3%
実 績 値	第 1 号被保険者数	156,613	166,317
	特定高齢者数	114	861
	（第 1 号被保険者数に占める割合）	0.1%	0.5%
	介護予防教室	回	207
		延人	645
	口腔ケア	延人	56
		延人	67
	転倒骨折予防教室	回	3
		延人	10
	高齢者運動機能向上教室	回	3
		延人	16
	介護予防相談	回	32
		延人	122
	生きがい活動支援通所	回	41
		特定(延人)	129
		一般(延人)	155
	機能回復訓練	回	2,728
		特定(食)	2,755
		一般(食)	5
	配食サービス （食の自立支援）	28,725	28,740
		延人	6,467
	ミニデイ銭湯	特定(食)	8,526
		一般(食)	20,990
		回	20,399
		延人	81,595
		回	288
		延人	288
		回	4,712
		延人	4,800

＜出典＞市資料

介護サービス、介護予防サービスを中心とする保険給付費は、平成 19 年度実績では 32,369,236 千円であり、年々増加しています。

地域支援事業費は、あんしんケアセンターを運営するための包括的支援事業や介護給付費の適正化、認知症対策などの任意事業の費用が多くを占めています。

図表 0-13 介護保険給付費及び地域支援事業費の推移

(単位:千円)

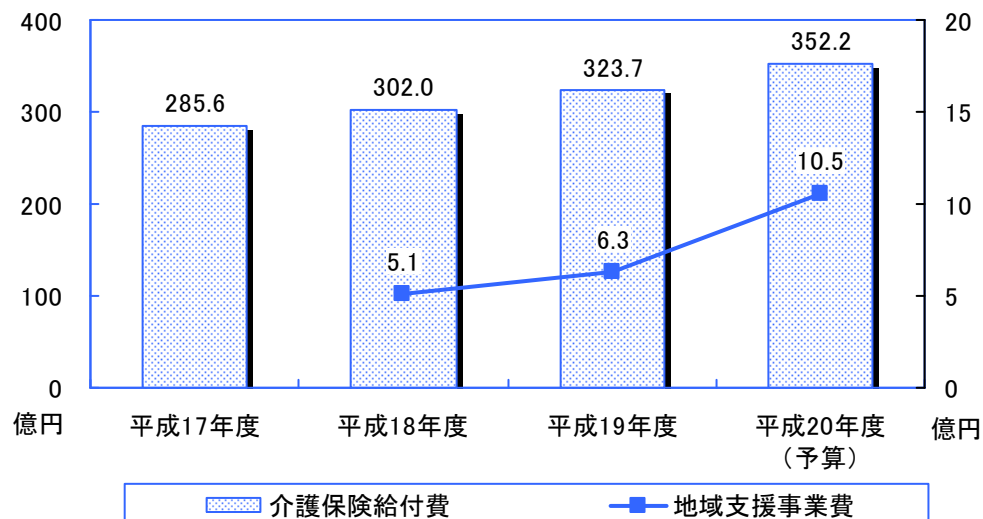
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
介護保険給付費	28,561,264	30,201,440	32,369,236	35,224,602
居宅サービス	16,088,651	17,833,625	19,545,790	20,829,803
介護サービス	15,013,700	16,985,790	17,938,364	19,152,659
介護予防サービス	1,074,951	847,835	1,607,426	1,677,144
施設サービス	11,815,316	10,971,242	11,321,776	13,267,474
その他	657,297	1,396,573	1,501,670	1,127,325
地域支援事業費	—	508,937	633,368	1,054,807
(対介護保険給付費割合)	—	1.7%	2.0%	3.0%
計	28,561,264	30,710,377	33,002,604	36,279,409

※ その他は、特定入所者介護サービス、高額介護サービス等、審査支払手数料の合計

※ 平成 20 年度は、当初予算額

※ 対介護保険給付費割合（地域支援事業が介護保険給付費に占める割合）は、地域支援事業費を保険給付費（審査支払手数料を除く）で除して得たものである。

図表 0-14 介護保険給付費及び地域支援事業費の推移



<出典>平成 17～19 年度：介護保険事業状況報告（介護保険特別会計経理状況）
平成 20 年度：当初予算額

(3) 高齢者の意識と行動

本市では、高齢者保健福祉施策や介護保険事業に対する利用者や市民等のさまざまな意識・利用意向及びニーズ等を把握し、第4期計画策定のための基礎資料とするため、「千葉市高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）策定に関わる実態調査」として、以下の6種の調査を実施しました。

ここでは、調査結果のうち、高齢者等の意識と行動に関する代表的なものを記載します。

① 調査概要

調 査 名	1. 高齢者一般	2. 一人暮らし高齢者	3. 特定高齢者
調 査 方 法	郵送配付、郵送回収		
調 査 対 象 者	市内在住の 65 歳以上の 高齢者 (2～4を除く)	市内在住の 65 歳以上の ひとり暮らし高齢者 (3～4を除く)	平成 18 年度の基本健康 診査等の結果、あんしん ケアセンターに相談をす るよう勧められた 65 歳 以上の高齢者 (4を除く)
調 査 期 間	平成 19 年 11 月 22 日～12 月 10 日		平成 19 年 10 月 24 日 ～11 月 9 日
対 象 者 数 及 び 回 収 率	・対 象 者 数:1,987 ・有効回収数:1,034 ・有効回収率:52.0%	・対 象 者 数:1,955 ・有効回収数: 896 ・有効回収率:45.8%	・対 象 者 数:1,170 ・有効回収数: 860 ・有効回収率:73.5% (お礼状兼督促状送付)

調 査 名	4. 要援護高齢者等	5. 若年者一般	6. サービス供給者
調 査 方 法	郵送配付、郵送回収		
調 査 対 象 者	介護保険の要介護又は 要支援の認定を受けて いる人	市内在住の 40 歳以上 64 歳以下の若年者 (4を除く)	介護保険のサービス事 業者
調 査 期 間	平成 19 年 11 月 22 日～12 月 10 日		
対 象 者 数 及 び 回 収 率	・対 象 者 数:1,988 ・有効回収数: 913 ・有効回収率:45.9%	・対 象 者 数:1,000 ・有効回収数: 402 ・有効回収率:40.2%	・対 象 者 数:1,000 ・有効回収数: 633 ・有効回収率:63.3%

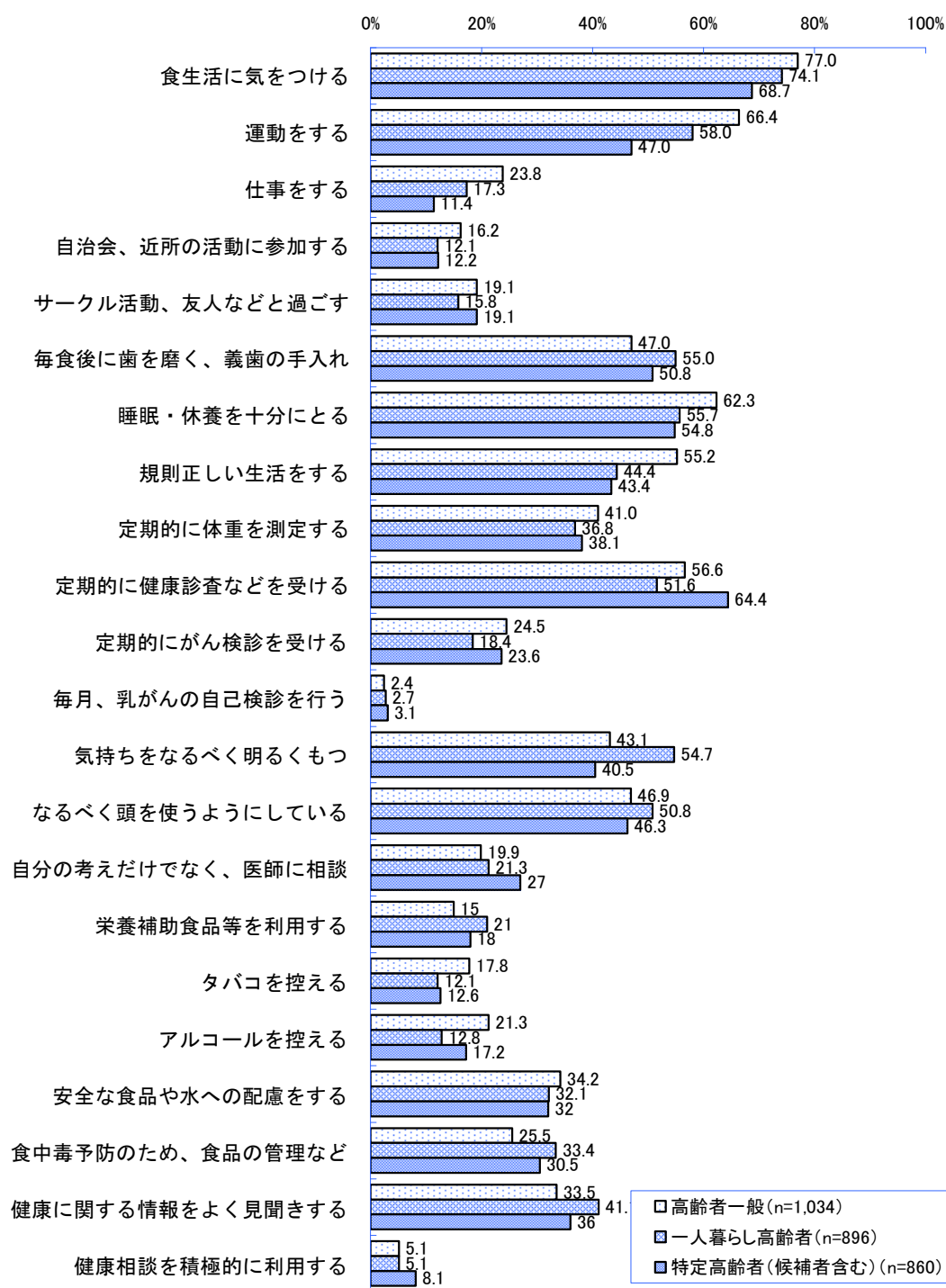
※これ以降、「千葉市高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）策定に関わる実態調査【平成 19 年度】」は、単に「実態調査」と表記する。

② 調査項目の概要

番号	調査名	調査項目
1	高齢者一般調査	1. 基本事項について
2	一人暮らし高齢者調査	2. 住宅環境などについて
3	特定高齢者調査	3. 心身の状況や通院・健康などについて
		4. 地域活動などについて
		5. 就労や生活全般について
		(高齢者一般調査、ひとり暮らし高齢者調査のみ)
		6. 高齢者保健福祉に関する施設・サービス・活動の利用について
		7. 介護予防事業について(特定高齢者調査のみ)
		8. 介護保険制度等について
		9. これからの高齢者保健福祉施策で力を入れていくべきと思うもの
4	要援護高齢者等調査	1. 基本事項について
		2. 住宅環境などについて
		3. 介護保険サービスの利用状況について
		4. 居宅サービスの利用状況について
		5. 主な介護者について
		6. 施設の利用状況について
		7. 施設等への入所(入居)について
		8. 情報提供、相談などについて
		9. 介護保険制度等について
		10. これからの高齢者保健福祉施策で力を入れていくべきと思うもの
5	若年者一般調査	1. 基本事項について
		2. 健康の状況や健康に対する意識などについて
		3. 地域生活について
		4. 福祉に関する実態と意識について
		5. 地域活動などについて
		6. 就労について
		7. 高齢者保健福祉に関する施設・サービス・活動の利用について
		8. 介護保険制度について
		9. これからの高齢者保健福祉施策で、力を入れていくべきと思うもの
6	サービス供給者調査	I. サービス事業所に対する調査項目
		1. 基本事項について
		2. 貴事業所におけるサービスの質の確保等について
		3. 利用者の状況について
		II. 法人に対する調査項目
		1. 基本事項について
		2. 介護サービス事業の経営について
		3. 経営管理における問題点や市に対する支援策等について

高齢者3調査（高齢者一般調査、一人暮らし高齢者調査、特定高齢者調査）、若年者一般調査では、健康の維持増進や介護予防のために心がけていることとして、「食生活に気をつける」、「運動をする」、「毎食後に歯を磨く、義歯の手入れ」、「睡眠・休養を十分にとる」、「規則正しい生活をする」、「定期的に健康診査などを受ける」、「気持ちをなるべく明るくもつ」などが上位となっています。

図表 0-15 健康の維持増進や介護予防のために心がけていること

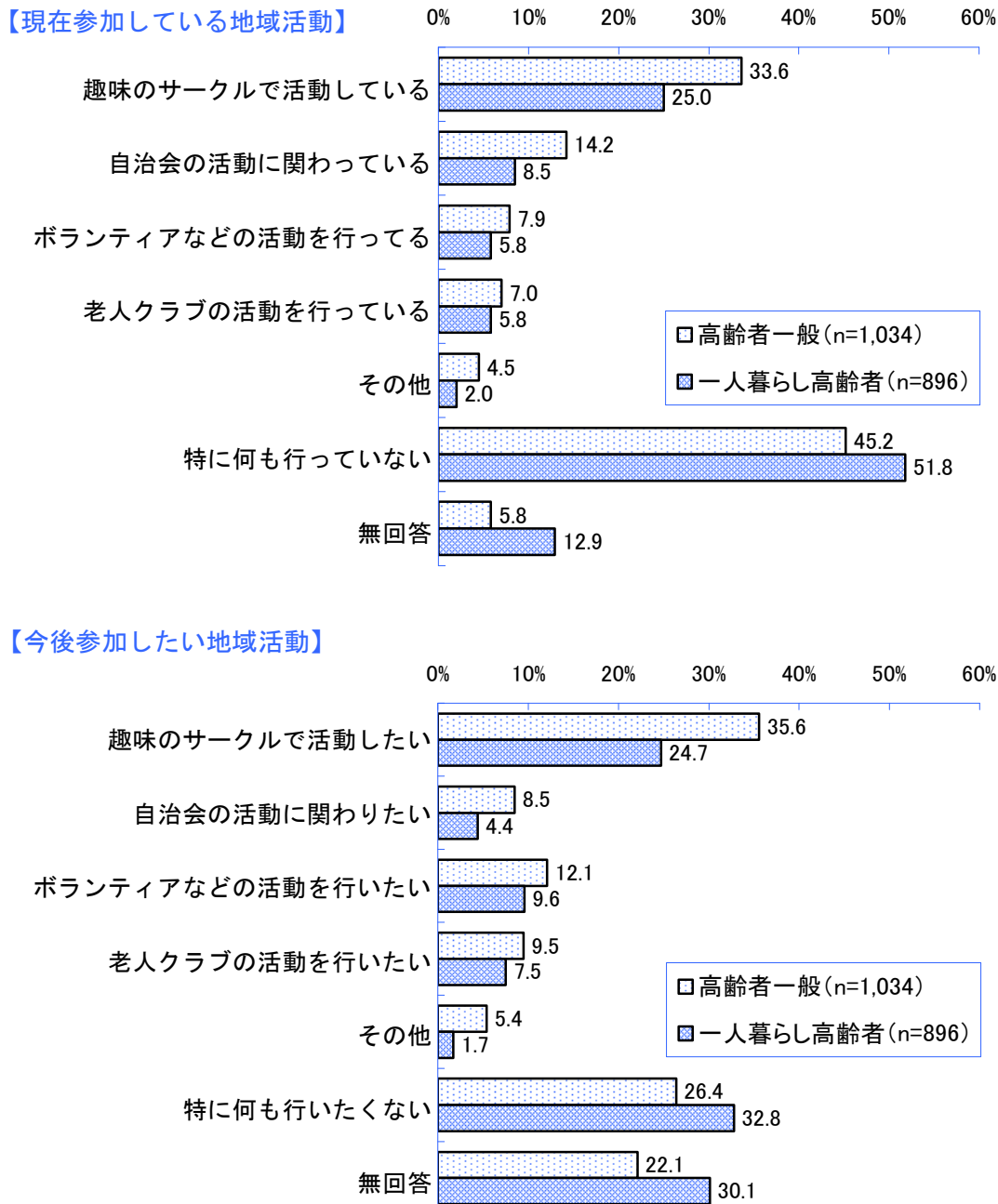


＜出典＞実態調査 ※「その他」、「特に心がけているものはない」、「無回答」は除いて掲載している。

高齢者一般、一人暮らし高齢者が現在参加している地域活動は、「趣味のサークルで活動している」が高齢者一般 33.6%、一人暮らし高齢者 25.0%などとなっています。一方、「特に何も行っていない」が高齢者一般 45.2%、一人暮らし高齢者 51.8%が最も高くなっています。

また、今後参加したい地域活動は、「趣味のサークル活動」が高齢者一般 35.6%、一人暮らし高齢者 24.7%となっており、地域活動への積極的な参加意欲を持つ人は低い傾向がうかがえます。

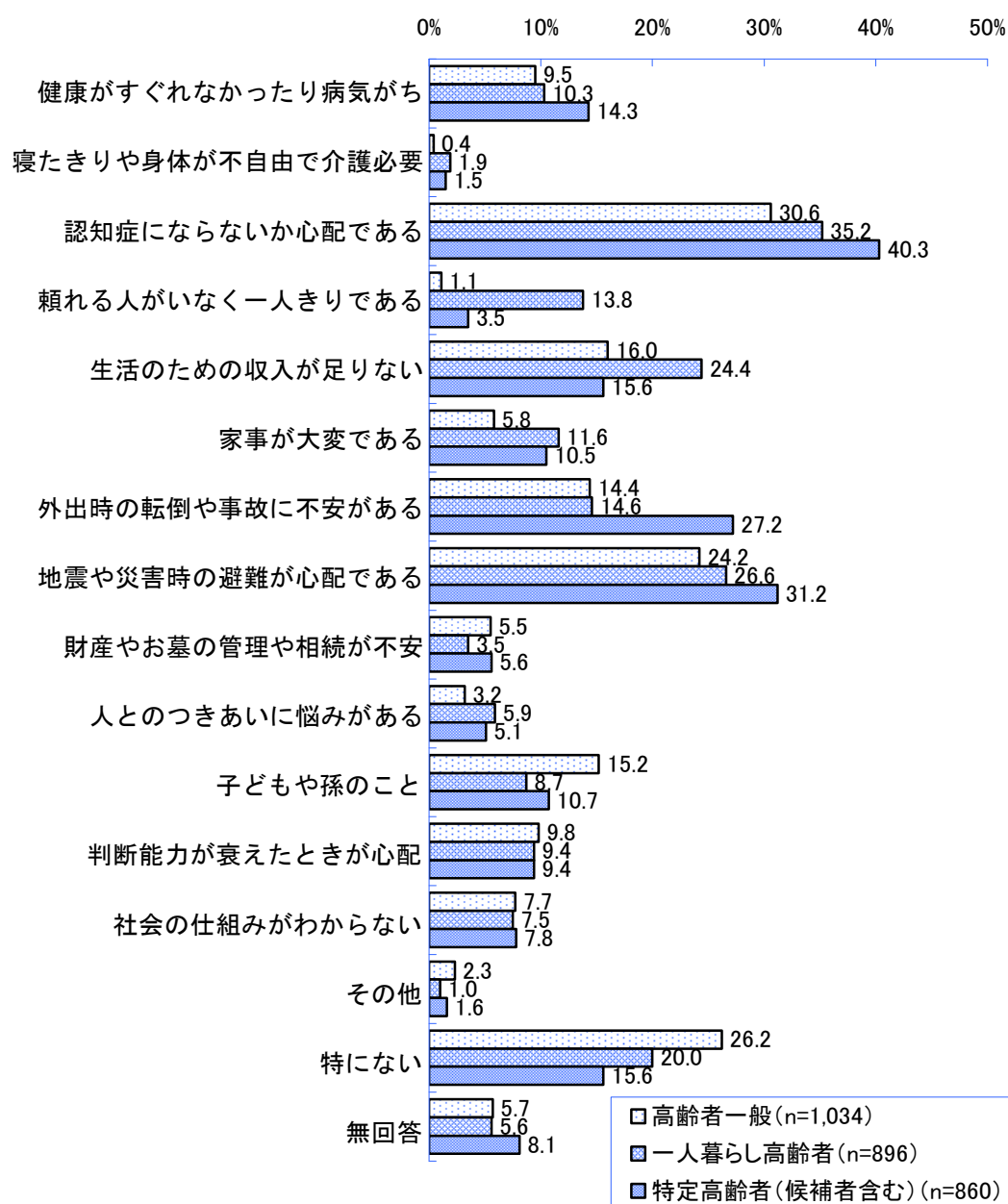
図表 0-16 現在参加している地域活動と今後参加したい地域活動



<出典>実態調査

日常生活での不安、悩み、心配ごとは、「認知症にならないか心配である」がいずれの高齢者でも高くなっています(高齢者一般30.6%、一人暮らし高齢者35.2%、特定高齢者(候補者含む)40.3%)。次いで、高齢者一般では「地震や災害時の避難が心配である」24.2%、「生活のための収入が足りない」16.0%、一人暮らし高齢者では「地震や災害時の避難が心配である」26.6%、「生活のための収入が足りない」24.4%、特定高齢者(候補者含む)では「地震や災害時の避難が心配である」31.2%、「外出時の転倒や事故に不安がある」27.2%と続いています。

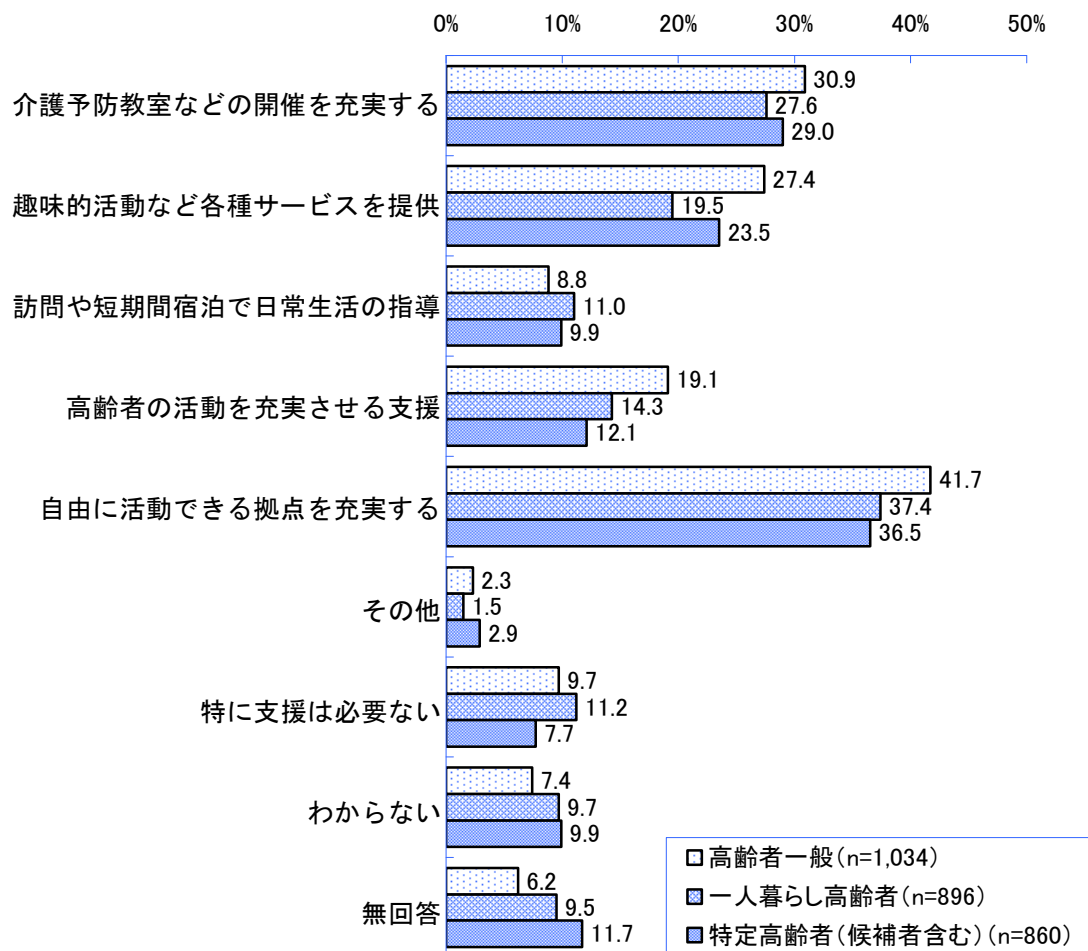
図表 0-17 日常生活での不安、悩み、心配事



<出典>実態調査

いつまでも元気に暮らし続けられるために重要と思う支援は、いずれの高齢者とも「自由に活動できる拠点を充実する」（高齢者一般 41.7%、一人暮らし高齢者 37.4%、特定高齢者（候補者含む） 36.5%）が最も高くなっています。次いで、「介護予防教室などの開催を充実する」（高齢者一般 30.9%、一人暮らし高齢者 27.6%、特定高齢者（候補者含む） 29.0%）、「趣味的活動など各種サービスを提供」（高齢者一般 27.4%、一人暮らし高齢者 19.5%、特定高齢者（候補者含む） 23.5%）と続いています。

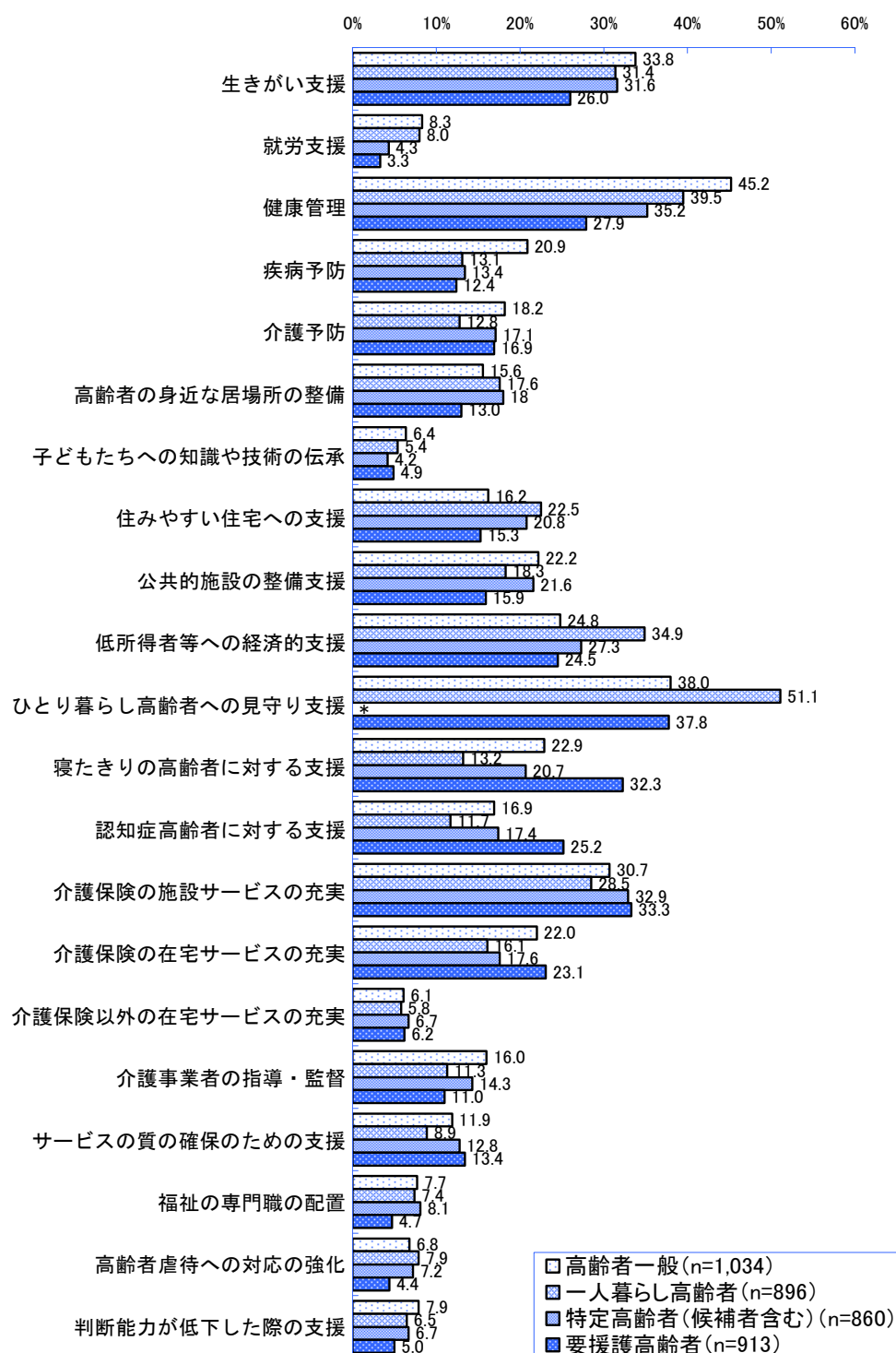
図表 0-18 いつまでも元気に暮らし続けられるために重要と思う支援



<出典>実態調査

千葉市がこれからの高齢者保健福祉施策で力を入れていくべきものとして、高齢者では、「生きがい支援」、「健康管理」、「低所得者への経済的支援」、「ひとり暮らし高齢者への見守り支援」、「寝たきりの高齢者に対する支援」、「認知症高齢者に対する支援」、「介護保険の施設サービスの充実」などが上位となっています。

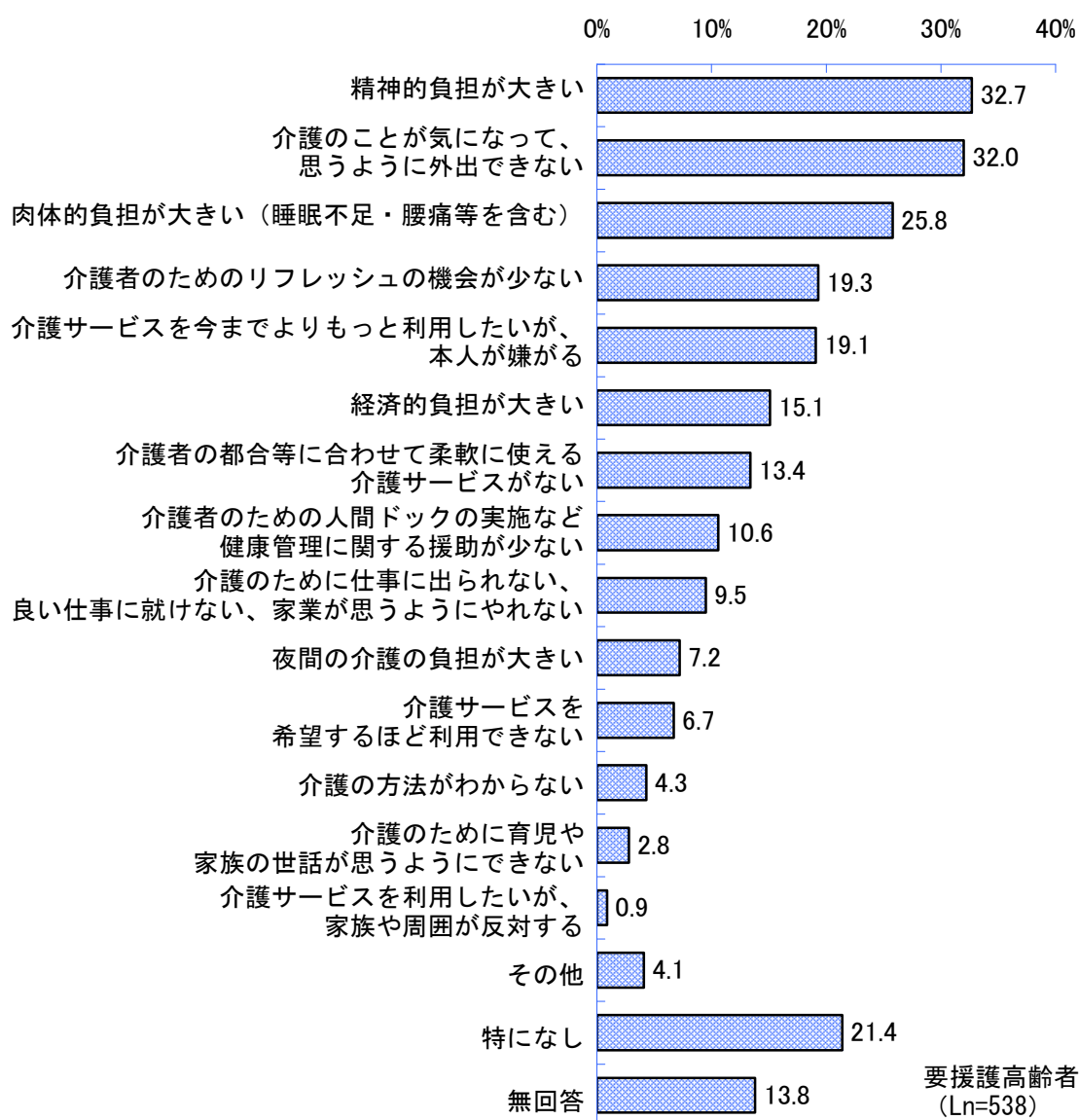
図表 0-19 千葉市がこれからの高齢者保健福祉施策で力を入れていくべきもの



<出典>実態調査 ※「その他」、「特にない」、「わからない」、「無回答」は除いて掲載している。

要援護高齢者等調査において、主な介護者が介護をするうえで困っていることは、「精神的負担が大きい」32.7%、「介護のことが気になって思うように外出できない」32.0%、「肉体的負担が大きい（睡眠不足・腰痛等を含む）」25.8%、「介護者のためのリフレッシュの機会が少ない」19.3%、「介護サービスを今までよりも利用したいが本人が嫌がる」19.1%などとなっています。このことから、主な介護者の心身両面、また、生活面に大きな負担がかかっている様子がうかがえます。

図表 0-20 主な介護者が介護するうえで困っていること



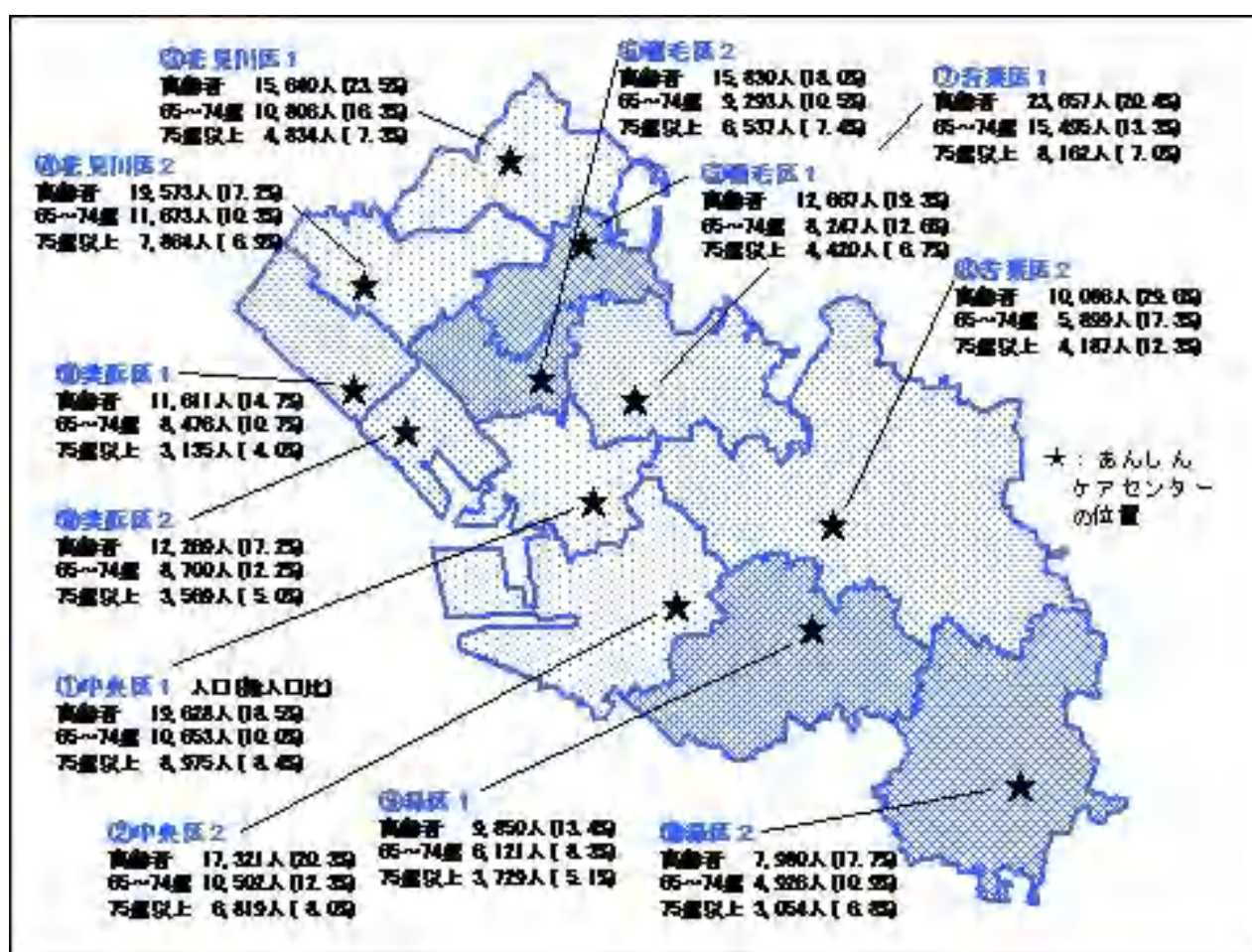
<出典>実態調査

(4) 日常生活圏域とあんしんケアセンター

本市の日常生活圏域は、介護を必要とする高齢者が、住みなれた地域（日常生活圏域）で生活を継続できるよう、地理的条件、人口等の社会的条件等を考慮した結果、各行政区を2分割した12 圏域としています。

また、地域における「総合的な相談窓口機能」、「介護予防ケアマネジメント」、「虐待防止を含む権利擁護」などを担うあんしんケアセンター（地域包括支援センター）は、各日常生活圏域ごとに、1か所ずつ合計で12 か所を整備しています。

図表 0-21 日常生活圏域と高齢者人口



<出典>市資料（平成20年9月30日現在）

図表 0-22 あんしんケアセンターと担当地区

区	圏域 番号	センター名	担 当 地 区 （町丁目）
中 央 区	①	うらら	青葉町、旭町、市場町、玄鼻 1～3 丁目、稲荷町 1～3 丁目、院内 1～2 丁目、春日 1～2 丁目、葛城 1～3 丁目、要町、亀井町、亀岡町、寒川町 1～3 丁目、栄町、汐見丘町、新宿 1～2 丁目、新千葉 1～3 丁目、新田町、新町、神明町、末広 1～5 丁目、千葉寺町、千葉港、中央 1～4 丁目、中央港 1～2 丁目、椿森 1～6 丁目、鶴沢町、出洲港、道場南 1～2 丁目、道場北町、道場北 1～2 丁目、問屋町、長洲 1～2 丁目、登戸 1～5 丁目、東千葉 1～3 丁目、東本町、富士見 1～2 丁目、弁天 1～4 丁目、本町 1～3 丁目、本千葉町、松波 1～4 丁目、港町、都町、都町 1～3 丁目、矢作町、祐光 1～4 丁目
中 央 区	②	ローゼンヴィラ はま野	赤井町、今井町、今井 1～3 丁目、鶴の森町、大森町、生実町、川崎町、川戸町、塩田町、白旗 1～3 丁目、蘇我 1～5 丁目、蘇我町 2 丁目、大巖寺町、新浜町、仁戸名町、花輪町、浜野町、星久喜町、松ヶ丘町、南町 1～3 丁目、南生実町、宮崎町、宮崎 1～2 丁目、村田町、若草 1 丁目
花見川区	③	晴山苑	天戸町、内山町、宇那谷町、柏井町、柏井 1 丁目、4 丁目、こてはし台 1～6 丁目、作新台 1～8 丁目、三角町、千種町、大日町、長作町、長作台 1～2 丁目、花島町、花見川、横戸町、横戸台
花見川区	④	まくはりの郷	朝日ヶ丘町、朝日ヶ丘 1～5 丁目、検見川町 1～3、5 丁目、懐橋町、さつきが丘 1～2 丁目、武石町 1～2 丁目、浪花町、西小中台、畑町、花園町、花園 1～5 丁目、南花園 1～2 丁目、瑞穂 1～3 丁目、幕張町 1～6 丁目、幕張本郷 1～7 丁目、宮野木台 1～4 丁目
稲 毛 区	⑤	双樹苑	あやめ台、柏台、小深町、山王町、園生町、長沼原町、長沼町、六方町、宮野木町
稲 毛 区	⑥	みどりの家	穴川町、穴川 1～4 丁目、稲丘町、稲毛 1～3 丁目、稲毛台町、稲毛町 4～5 丁目、稲毛東 1～6 丁目、黒砂 1～4 丁目、黒砂台 1～3 丁目、小中台町、小仲台 1～9 丁目、作草部町、作草部 1～2 丁目、千草台 1～2 丁目、天台町、天台 1～6 丁目、轟町 1～5 丁目、萩台町、緑町 1～2 丁目、弥生町
若 葉 区	⑦	シャローム若葉	愛生町、小倉町、小倉台 1～7 丁目、貝塚町、桜木 1～8 丁目、桜木北 1～3 丁目、高品町、千城台北 1～4 丁目、千城台西 1～3 丁目、千城台東 1～4 丁目、千城台南 1～4 丁目、都賀 1～4 丁目、都賀の台 1～4 丁目、殿台町、西都賀 1～5 丁目、原町、東寺山町、みつわ台 1～5 丁目、源町、若松町、若松台 1～3 丁目
若 葉 区	⑧	ちば美香苑	五十土町、和泉町、大井戸町、大草町、太田町、大広町、大宮町、大宮台 1～7 丁目、御成台 1～4 丁目、小間子町、加曽利町、金親町、上泉町、川井町、北大宮台、北谷津町、古泉町、御殿町、坂月町、更科町、佐和町、下泉町、下田町、富田町、高根町、多部田町、旦谷町、中田町、中野町、野呂町、谷当町
緑 区	⑨	裕和園	大金沢町、落井町、おゆみ野 1～6 丁目、おゆみ野有吉、おゆみ野中央 1～9 丁目、おゆみ野南 1～6 丁目、刈田子町、鎌取町、小金沢町、椎名崎町、大膳野町、高田町、富岡町、中西町、菅田町 1～3 丁目、東山科町、平山町、辺田町、古市場町、茂呂町
緑 区	⑩	千寿苑	あすみが丘 1～9 丁目、板倉町、大木戸町、大高町、越智町、大椎町、大野台 1～2 丁目、小山町、上大和田町、下大和田町、高津戸町、土気町、平川町、小食土町
美 浜 区	⑪	セイワ美浜	磯辺 1～8 丁目、稲毛海岸 5 丁目、打瀬 1～3 丁目、豊砂、中瀬 1～2 丁目、浜田 1～2 丁目、ひび野 1～2 丁目、幕張西 1～6 丁目、真砂 1～5 丁目、美浜、若葉 1～3 丁目
美 浜 区	⑫	みはま苑	稲毛海岸 1～4 丁目、幸町 1～2 丁目、新港、高洲 1～4 丁目、高浜 1～7 丁目

<出典>市資料（平成 21 年 3 月末現在）

図表 0-23 あんしんケアセンターの業務状況（平成 19 年度実績）

区	圏域 番号	センター名	要介護認定 平成 20 年 9 月 30 日現在		介護予防支援			特定高齢者		相談 件数	権利 擁護 対応 件数
			要介護 ・要支援 認定者数	うち、 要支援 者数	直営 プラン 作成件数	委託 プラン 作成件数	計	特定 高齢者 数	プラン 作成 件数		
中 央 区	①	うらら	6,080	1,737	385	465	850	73	4	854	43
中 央 区	②	ローゼンヴィ ラはま野			432	277	709	45	6	486	58
花見川区	③	晴山苑	4,930	1,528	297	150	447	59	5	841	82
花見川区	④	まくはりの郷			438	365	803	229	9	560	42
稲 毛 区	⑤	双樹苑	3,887	1,076	246	156	402	32	3	658	46
稲 毛 区	⑥	みどりの家			315	211	526	98	10	980	62
若 葉 区	⑦	シャローム 若葉	5,134	1,540	437	402	839	82	6	992	78
若 葉 区	⑧	ちば美香苑			199	177	376	55	1	345	28
緑 区	⑨	裕和園	2,898	785	267	146	413	44	7	384	40
緑 区	⑩	千寿苑			242	134	376	24	3	529	30
美 浜 区	⑪	セイワ美浜	2,681	965	309	144	453	58	19	345	25
美 浜 区	⑫	みはま苑			372	164	536	62	8	372	35
計			25,610	7,631	3,939	2,791	6,730	861	81	7,346	569

<出典>市資料（平成 20 年 3 月末現在）

5. 計画策定の視点と計画目標

(1) 計画策定の視点

① 生きがいくりと社会参加の促進

多年にわたり、社会の発展に寄与してきた高齢者が、自らの知識や経験を活かし、いつまでも社会の一員として生きがいを感じながら社会参加できるよう、就労支援や学習機会の充実などに取り組みます。

② 健康づくり・介護予防の推進

高齢者が、要支援・要介護状態になることをできる限り予防し、健康でいきいきと自立した生活が続けられるよう、健康づくりや介護予防の取り組みをさらに充実し、高齢者が意欲を持って積極的に健康づくり・介護予防に取り組むことができるよう支援します。

③ 適正な介護保険制度の運営

支援や介護を必要とする高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、地域密着型サービスの整備促進やあんしんケアセンターの充実に努めるとともに、真に介護が必要な人が安心してサービスを受けることができるよう、介護保険サービスの充実やケアマネジメント、保険給付の適正化、介護人材の確保など、介護保険制度を円滑に運営します。

④ 地域福祉の推進と尊厳の確保

高齢者が住みなれた地域で、その人らしく安心して暮らすことができるよう、あんしんケアセンターを中心とした地域包括ケアの推進に努めるとともに、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者などを、地域で互いに助け合い、支え合うネットワークづくりやケア体制の充実を図ります。

また、高齢者の尊厳を守るため認知症高齢者やその家族を支援していくほか、高齢者虐待の防止や成年後見制度の適切な利用につながる取り組みを進めます。

(2) 計画目標

本市の市政運営の中長期的計画である「ちば・ビジョン21」では、「やすらぎをはぐくみ未来を支える都市づくり」を基本目標に、将来像実現のための方向として「安心して暮らせる健康福祉のまちを創る」を掲げています。

この理念を十分に踏まえ、高齢者が積極的に社会参加し、生きがいを持って、生涯を明るくいきいきと充実した生活を送ることができるよう環境整備を進めるとともに、要介護状態にならないよう、健康づくり・介護予防を推進し、たとえ介護が必要な状態になっても、社会全体で支えあい、心豊かに安心して暮らしつづけられる、長生きしてよかったと実感できるまちづくりを推進し、明るく活力ある超高齢社会を構築します。

図表 0-24 計画策定の視点・目標・施策体系

